答えの正しい書き方

1　答えは、定められた欄（灰色のところ）の中にはっきりていねいに書くこと。

みとり算

9	8,467	290,546
10	93,128	683
計		

かけ算　　わり算

11	5,186×398=		31	369,900÷540=	
12	6,942×850=		32	0.945÷17.5=	

2　答えに小数があるときは１の位に小数点「．」をつけ、
一の位または円の位以上には、３位ごとにコンマ「,」をつけること。

3　コンマ「,」と小数点「．」は、はっきり区別して数字の間に書き、
数字のふれたり重ならないようにすること。

例　無名数　4,949,797　　名　数　¥4,512,704

（円の記号はつけなくてもよい）

4　四捨五入したとき　１級 ～ ３級　（小数第３位未満の端数を四捨五入したとき）

例　2.045×0.098＝0.2または0.200
　　97.825×0.46＝45または45.000

5　四捨五入しないとき　１級 ～ ３級

例　11.532÷0.248＝46.5　（46.50や46.500はいけない）
　　123.3÷34.25＝3.6　（3.60や3.600はいけない）

答えの正しい直し方

1　答を書き直すときは、その答の全部を横線で消して書き直すこと。

2　訂正のあと答がもとの欄に書けないときは、欄外に書いて
もとの欄と矢印でむすぶか答の前に番号を書いて（　）か ○ でかこむこと

9	8,467
10	93,128
計	~~2,528,862~~

⑥ 2,528,802

30	¥6,019×0.398= ~~23,955.562~~

(30) 23,956

50	¥273÷0.375= ~~727.84~~

728

その他の注意

1　答を縦に書いたり、二段に書いたりしないこと。

2　答を二つ以上書いたり、同じ数字やコンマ、小数点でも二重に書いたり、
なぞったりしないこと

3　答の近くに（V）（○）（△）など、まぎらわしいしるしをつけないこと。

4　小数点を（。）のように書かないこと。

5　コンマをあまり長く書かないこと。（/のようにみえるのはいけない）

6　消しゴムで消したり、答の一部訂正はしないこと。

7　印刷してある番号を書きかえたり、矢印で入れかえたりしてはいけない。